

短歌 全17首

敬老日祝はれ心温もりて歳増す毎に感謝深まる
 軽快にペダルをこいで美の山へ暑さも陰り秋はすぐそこ
 雨水が遠心力で飛んでいくリレーバトンをただ繋ぐため
 編み機処分決めてセーター編み落とす目の衰へは加速してをり
 ちちるなく今年の夏は娘らは来ず長き電話でまぎらす今宵
 この子等が心豊かに育つよう読んで聞かせて願うひととき
 この里に守られ詠い広報に投稿続け四十年経ぬ
 つたくよオーミリたりと動きやせぬ北方領土も拉致被害者も
 久々に同窓生らの電話来し五十数年の空白満たしぬ
 台風に倒れしままの太木はそのまま朽ちる山の集落
 迫り来る台風コロナ熱中症産土神に無事祈る毎日
 茨城の新米オカユ何で食うオカカウメボシ荒塩でしよう
 己が身は己が守る他はなしひとり住いて沁み沁み思ふ
 昼下がり草刈り終えた畑にはくの字くの字と数多の蜻蛉
 会わずともタブレットからピアノの音元気な姿に拍手を送る
 色々な行事が中止残念だ友と逢う日がなくなつたなり
 久々の自動車旅行二十余年振りに雁坂トンネルを往く

下日野沢 浅見 豊子
 皆野 大澤 貴夫
 皆野中 太幡 琉美花
 皆野 引間 万亀
 国神 藤原マキ子
 皆野 萩原 初恵
 三沢 眞下 杏子
 皆野 石原 達也
 三沢 新井 民子
 上日野沢 四方田利男
 皆野 根岸 詩子
 皆野 戸塚喜久雄
 三沢 新井 叶子
 下日野 新井 節子
 皆野 村田ハツ代
 三沢 横田 龍雲
 皆野 打木 昭廣


榎本順江選

十五夜や巻雲の尾に見え隠れ
 (評名月を隠す雲なかなか退いてくれません。巻雲は、風の向きや速さによつて、鳥の羽根の様に、又、駆ける馬の尾の様になるとの事です。見せたり隠したり雲も又良しでしょうか。中七の表現から空模様がよく見える秀句です。二句目、山の上にある社。昔から人々の深い信仰心から心の拠り所として大切に守り続けています。澄んだ秋の気配の中、穏やかな世の中であります様見守り続けて頂きたい思いです。三句目、霧時雨のなか句碑巡りをする中学生のグループを見かけました。どんな感想があるだろうかと思いつつ見送りました。俳句に興味を持ち俳句の町皆野を盛り上げて頂きたい思いです。)

秋気澄む霊山に里守られて
 皆野 根岸 詩子
 兜太の碑巡る子等の処霧時雨
 皆野中 小菅恭青史
 廃れたる生家を巡る秋彼岸
 三沢 眞下 杏子
 叢々に開花の萌し曼珠沙華
 皆野 引間 千鶴
 かまきりの生きる証を目の当たり
 三沢 新井 民子
 月は朔庭の虫の音数知れず
 皆野 萩原 初恵
 秋陽背に亡夫愛用の鎌を研ぐ
 三沢 新井 叶子
 刈り田みち稲の香残し暮れにけり
 国神 藤原マキ子
 田の端を赤く賑わす曼珠沙華
 皆野 村田ハツ代
 うから等と先祖偲びし秋彼岸
 皆野 豊田喜美恵
 下日野沢 浅見 豊子
 皆野 豊田喜美恵
 皆野 石原 達也
 皆野 戸塚喜久雄

俳句・短歌を募集
 作品には、ふりがなをつけ、住所・氏名・電話番号を明記して
 みらい創造課までお寄せください。
4日必着
 1人1句、1首に限ります。

1歳になる赤ちゃんを募集しています



ご応募いただいた赤ちゃんは、全員掲載します。誕生月の前月10日までに、みらい創造課窓口(写真をご持参ください)または、町ホームページからお申し込みください。

12月号の締め切りは、11月10日(火)です。

問合せ みらい創造課
 みらい創造担当
 ☎26-7334

1歳のお誕生日おめでとう

お中央くん
 下原区 小池 亮史さん
 小池 裕貴さん




1歳の誕生日おめでとう!
 元気に育ってくれてありがとう!

今月の題字
 国神小6年
 吉田 琉愛さん



児童の見守り放送
 皆野小2年
 門平こはるさん

